

図書館便り 12月号

2021年12月15日発行
阿波高校図書委員会

2021年もいよいよ大詰め!となりました。
皆さん、この一年間はどんな年でしたか?
思っていた通りの一年になったでしょうか?
さて、もうすぐ冬休み!
新型コロナも県内は落ち着いていますが、
新たな変異型も登場し、まだまだ油断は禁物です!
今年の冬も、自宅でゆっくり本を読んで過ごしませんか?
さあ、図書館便りを片手に、
新しい本とどんどん出会しましょう!



○22HR図書委員鳴川のオススメ

書名 ぼくは明日、昨日のきみとデートする

著者名 七月隆文

京都の美大に通う南山高寿は、電車で出会った女の子に一目惚れした。このチャンスを逃したくなかった彼は、いきなり声をかけ、告白する。彼女の名前は福寿愛美。涙もろくて世話好きな彼女は、花のように可愛い。そんな彼女が突然言う。「あなたの未来がわかるって言ったら、どうする？」

この言葉が意味することとは?2人のこれからの運命は?

恋する楽しさと、隠された悲しい秘密……。

思わず心が動かされる、そんな1冊です。

○25HR図書委員三橋のオススメ

書名 猫の形をした幸福

著者名 小手鞠るい

猫が好きという理由だけで読もうと思った1冊だ。

見合いをしてすぐに結婚、アメリカに住むことになった彩乃と未知男は、オスの子猫マキシモを迎える。猫目当ての私だったが、この夫婦もほほえましい。マキシモを中心に四季の彩りが鮮やかに描かれて、そんな中、楽しい日々を過ごす姿に心が温まる。

マキシモが病気になって2人が最期を見守る場面は悲しい気持ちになるが、「猫の形をした幸福」は私の心に残った。猫好きな人にぜひ読んで欲しい1冊だ。



○22HR図書委員武知のオススメ!

書名 テニスの王子様勝利学

著者名 松岡修造

『テニスの王子様』が好きという理由で私はこの本を手にとった。松岡修造氏がテニスの魅力を紹介した本だ。

「基本が大切」……私たちの「調子が悪い」というのは、「基本」を見失っていることらしい。しかし、「基本」とは誰目線なのか……。誰にでも同じように通用する「基本」はあまりないようだ。しかし、その基準が分からない代わりに、自分が「正しい」と思うやり方を押し通すのが重要らしい。……なるほど、生意気で口の悪いリョーマだが、彼は自分なりの「基本」ができていて強いのだろう。そのためか、彼は「基本」ができていない者に厳しい。

「まだまだだね。」……リョーマの口癖だ。これは自分自身に向けたものだ。元プロの父を真似て成長してきた彼にとって、父を超えるテニス、それが彼の「やらなくちゃならねえこと」。真似をするだけでなく、自分だけのテニスを作ることが重要だという。

ミスをして弱気になるのではなく、ミスから「学習」することが必要。……確かに、練習試合でリョーマは不二の技に苦しめられ、凡ミスをしてしまう。でも、そこから学習した。試合の勝敗はついてないものの、そのミスによって成長した。

ミスは成功へのチャンスである。

○25HR図書委員山添のオススメ

書名 時給300円の死神

著者名 藤まる

クラスメイトの花森から時給300円という絶望的にブラックな「死神」のアルバイトに誘われた佐倉。半信半疑でしたが、半年間勤め上げたらどんな願いも叶えてくれると聞き、引き受けました。この世の未練を晴らし、成仏させる仕事だが、時間にリミットがある。限られた時間の中で、どうやってあの世へ見送るのか……。

佐倉のエピソードは全部で5つ。1つ1つ経験する中で、佐倉の気持ちに変化していきます。そんな佐倉を通して、「幸せ」とは?「生きる」とは?と考えさせられる物語です。

また、題名にもある「300円」にはどのような意味が込められているのか?と考えながら読んでみるのも面白いかもしれません。死者たちと最後に明かされる花森の秘密にドキドキさせられる作品なので、ぜひ読んでみてください。阿波高校の図書館にありますよ!



～1月号は1年生が担当します。お楽しみに。～

